

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相に関する動き

・3日、欧州議会によるウクライナ監視ミッション代表のコックス元欧州議会議長及びクファシニエフスキ元ポーランド大統領は、ハルキフの国鉄中央病院を訪問し、ティモシェンコ前首相と面会。4日、両代表は、ヤヌコーヴィチ大統領、アザーロフ首相及びクリューエフ国家安全保障・国防会議書記と会談。

・4日、ティモシェンコ前首相は、コックス・クファシニエフスキ両欧州議会ミッション代表によってなされた国外治療の提案を受け入れる旨表明。同日、同前首相のヴラセンコ弁護人は、両代表は同日行われたヤヌコーヴィチ大統領との会談において同前首相の国外治療を可能にするための法的措置及び同前首相への恩赦を要請した旨発言。

▼その他

・29日、共産党及び「ウクライナの選択」運動は、関税同盟への加盟の是非を問う国民投票の実施を求める集会をキエフ市内にて9月8日に引き続き開催。

・2日、キエフ市議会は、与党議員のみの出席により本会議を開催し、2013年予算修正案等を採択。同日、任期が満了した議員による本会議開催に反対するヤツェニウク「バチキフシナ」会派長及び野党議員等は、同市長・市議会選挙の早期実施等を要求し、議会周辺において抗議運動を実施。

・3日、ルカシュ司法相は、ウクライナの選挙法改革に関するベニス委員会及びOSCEによる共同の結論が11日に提示される見込みであるとして、同法案採択に向けた作業を加速させる旨表明。同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、9月19日に最高会議で採択された会計検査院の権限拡大を目的とした憲法98条改正案に署名。

・4日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ティモシェンコ前首相及びルツェンコ元内相の刑事訴追を担当したクジミン次長検事を罷免した上で国家安全保障・国防会議副書記に任命。同元内相は、同人事はウクライナの恣意的裁判の終結に向けた一歩と評価する旨発言。

▼世論調査

[Research & Branding Group社]

・近日中に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率
地域党:22.0%、「バチキフシナ」党:18.4%、「ウダール」党:13.3%、共産党:6.1%、「スヴォボダ」党:5.3% 等
・調査は9月15日から25日にかけて3,117名の成人を対象に実施。

2. 経済

▼マクロ経済

・1日、ウクライナ国立銀行は、2013年8月期の国際収支が2

億3,200万ドルの赤字、年初比では17億ドルの黒字と発表。

▼IMF

・2日、ドゥビフヴォスト・ウクライナ国立銀行理事は、IMFとの交渉のため、10月10日、ウクライナの代表団が米国ワシントンを訪れることを検討している旨発言。

・4日、ヴァッチャーIMF駐ウクライナ代表は、10月17～29日、IMF協定4条協議のため、IMFミッションがウクライナを訪問する予定と発表。

▼自動車市場

・2日、AUTO-Consultingは、2013年9月期のウクライナにおける新車販売台数が、対前年同月比で約半分の13,000台であった旨発表。

▼科学技術

・30日、ヤヌコーヴィチ大統領は、2013年～2017年「国家科学・エンジニアリング宇宙計画」に関する法律に署名。

・3日、セミノジェンコ科学イノベーション情報化庁長官は、ウクライナが同日、欧州原子核研究機構(CERN)と、ウクライナがCERNのAssociate国となる合意文書に署名。

▼ガス問題

・3日、リヴィウ州議会は、「シェブロン」社に対し同州オレスカ・ガス田におけるシェールガス採掘の開始を許可する旨の協定案を採択。

▼その他

・1日、トンビンスキー駐ウクライナEU代表部大使は、EUは2013年～2014年におけるウクライナによる経済改革を技術的及び資金的に支援し続けるつもりである、連合協定への署名が実現した場合、ウクライナにおける改革を支援するため4,500万ユーロを割り当てる計画である旨発言。

・2日、閣僚会議は、2013年～2020年の国家廃棄物管理計画骨子を承認。同骨子では、廃棄物の量の削減、リサイクルのための廃棄物分別条件の策定、EU基準に基づく廃棄物処理施設の建設等が記載。

・3日、アザーロフ首相は、ウクライナの技術基準をEU基準に適合させるために1,650億ユーロを要する見込みである旨発言。

3. 外政

▼デ・グフト貿易担当欧州委員の来訪

・2日、ヤヌコーヴィチ大統領、アルブーゾフ第一副首相及びプラソロフ経済発展・貿易相は、来訪したデ・グフト貿易担当欧州委員とそれぞれ会談し、ビリニユスでのサミットへ向けた準備状況、同協定の適用過程において生じる可能性のある貿易・経済問題、サミットまでに採択される必要のある欧州統合関連法案及びウクライナ・ロシア関係等に関し協議。同欧

州委員は、連合協定署名のためにウクライナはビジネス環境及び廃車税等に関する問題を解決する必要がある旨指摘し、同協定が署名された場合、適用プロセスの開始から1年でウクライナ国民はEUとの自由貿易圏協定の結果を感じることができるであろう旨発言。

▼コジャーラ外相のラトビア訪問

- ・2日、コジャーラ外相は、ラトビアを訪問し、ドンブロウスキス首相と会談。双方は、政治、経済及び文化・人文分野における両国関係の発展、3月のベルズィンシュ大統領ウクライナ訪問の際の合意事項の達成状況等に関し協議。
- ・2日、コジャーラ外相は、リンケービッチ外相と会談し、両国政治対話の発展、貿易・経済及び投資協力の深化、交通・運輸分野における協力の活性化、国際機関における協力及びウクライナの欧州統合路線等に関し協議。会談後、両外相は、共同声明に署名。
- ・2日、コジャーラ外相は、アーボルティーニャ国会議長と会談し、両国の議会間交流活性化の必要性を確認。

▼コジャーラ外相のエストニア訪問

- ・3日、コジャーラ外相は、エストニアを訪問し、アンシプ首相と会談。双方は、エネルギー、運輸、投資及び貿易・経済等の分野における両国協力関係に関し協議。
- ・3日、コジャーラ外相は、パエト外相と会談し、ウクライナの欧州統合路線、東方パートナーシップ首脳会合及びヤヌコーヴィチ大統領のエストニア訪問の準備状況等に関し協議。
- ・3日、コジャーラ外相は、エルグマ国会議長と会談し、両国

議会間協力活性化の見通しに関し協議し、議会議長レベルでの政治対話を深化させることで合意。同外相は、最高会議において対エストニア議員グループが創設された旨述べ、エルグマ議長は、エストニアはウクライナの欧州統合路線を支持する旨表明。

▼パシュカ・スロバキア国会議長の来訪

- ・1日、リュバク最高会議議長は、来訪したパシュカ・スロバキア国会議長と会談し、政治、経済及び文化・人文分野における両国議会間協力等に関し協議。リュバク議長は、国家の法制度をEU基準に適合させる上でのスロバキアの経験に関心がある旨述べ、パシュカ議長は、ビリニウスでのサミットにおいてもスロバキアはウクライナの欧州統合路線を支持する旨発言。

▼世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

- ・ウクライナが統合する道を決定するのは
全ウクライナ国民投票:61.3%、大統領:12.0%、最高会議:11.5%
- ・ウクライナが統合を目指すべき方向は
EU:40.5%、ロシア主導の関税同盟:35.0%
- ・調査は9月6日から27日にかけて2,044名の成人を対象に実施。

4. 防衛

- ・1日、国防省は、徴兵制最後となる2,500人の召集を開始、2014年末までに完全な職業軍人化に移行する旨発表。

(了)